

2023年11月06日

課題名：HCUにおける患者の興味関心に合わせたADL/IADLの支援の実態とその効果

◆研究の目的と概要◆

当院HCUでは、早期から作業療法を導入しており、看護師も作業療法士の助言を受けて看護師にできるADL（日常生活動作）/IADL（手段的日常生活動作）の支援を実施しています。本研究では、患者の興味関心に合わせて作業療法士と看護師が協働で行ったADL/IADLの支援の効果を明らかにし、患者さんの看護に役立てさせていただきます。

◆対象となる患者さん◆

2022年8月から2023年9月の間に当院HCUに3日以上入室した患者さんで、期間中に退院あるいは転院した患者さんを対象にしています。
ただし、意思疎通困難な状態の患者さんは対象外としました。

◆研究方法◆

電子カルテ（リハビリ記録、看護記録、重症記録）に記録された情報を閲覧し、データを集計・分析します。使用するデータは、日常生活動作の自立度を評価したデータや、睡眠状況を評価したデータや、看護介入内容の記録などです。

-
- * 研究成果は学会等で発表を予定していますが、その際も患者さんを特定できる情報は利用しません。
 - * 本研究に関するお問い合わせや、カルテ情報の利用についてご了承いただけない場合、以下の問い合わせ先までメールでご連絡ください。

【問い合わせ先】

公益財団法人大原記念倉敷中央医療機構 倉敷中央病院

HCU 研究責任者 福田 美恵

E-mail： kenkyu★kchnet.or.jp（臨床研究センター）

（★を@に変換して使用してください）

この研究課題で利用する残余検体・診療情報等の利用については、医の倫理委員会によって「社会的に重要性が高い研究である」等の特段の理由が認められ、実施についての承認が得られています。

※【問い合わせ先】では、次の事項について受け付けています。

- 研究計画書および研究の方法に関する資料の閲覧（又は入手）ならびにその方法（他の研究対象者の個人情報および知的財産の保護等に支障がない範囲内に限られます。）
- 研究対象者の個人情報についての開示およびその手続
- 研究対象者の個人情報についての利用目的の通知
- 研究対象者の個人情報の開示、訂正等、利用停止等について、請求に応じられない場合にはその理由の説明